

機等驚くべき軍備を整へてゐる、其の眞意を解すべし。即ちスターリンは國防の完備なくして國家の安全なしと叫び軍備の完成を説いてゐるではないか。

我が國は噴火山に坐してゐながら其の危険を知らざるものである。過日の陸軍大演習を傍觀した外國の武官は何んと言したか、軍人精神は旺盛であるが武器が劣悪と言つたではないか、即ち我國現在の兵に就て見れば其の機關銃の備へは米國の五分の一、ロシヤの三分の一に過ぎない。

吾々の行動を以つて軍紀紊亂なりとして非難する者は其の理由として「政治に拘らず」と言ふ一言のみを捉へてゐるが、不敬至極である、御聖旨は御勅諭の前後を通讀すれば分明する筈である。

吾々は兵強かれ國強かれと叫ぶ者である、今日の腐敗墮落に

導いた元兇がかくの如き責をなすは沙汰の限りである、吾等は何等の權謀術策を用ひず府仰天地に恥ぢない。

軍部はフアツシヨを行ふが如き考を有せず軍隊は最後に護國の爲に邁進するもので何等の調道を用ひるを要しない、公明正大に諸君と相見ゆる者である。

明治維新は最上の特權を有した武士階級が其の特權を放棄した之れ日本人の誇りである、一朝有事の際國民心を一にして櫻の花の如くなるのが日本精神である。犬養氏の令息が五・一五事件の被告の滅刑懲款願をなした誠に歴しい日本精神の現れである、其の罪を悪んで其の人を悪まず。

七、萬歳三唱 散會 午後十時

八、縣下各地に於ける護國軍の講演會豫定

○十一月十五日 小倉市